



15号の主な内容

- 世界ハビタットデー2005のテーマ
- 国際セミナー「災害に強い「くに」と「まち」づくり
- 定例会・学習会開催
- 国連ハビタット福岡事務所協力委員会
- クリエイティブフェスタ2005を共催

15

<http://cnht.npgo.jp>

■世界ハビタットデーのテーマ決まる

“Millennium Development Goals and the City”
～ミレニアム開発目標と都市（仮題）～

今年の世界ハビタットデーは10月3日（月）です。国連は、人間居住のあり方や、適切な住まいを得るといふ全ての人間の基本的な権利について熟考するために、10月の第1月曜日を世界ハビタットデーに制定した。それはまた、世界が人間の居住地の将来について共通の責任を持つことを気づかせるためでもある。

2005年の世界ハビタットデーのテーマは、「ミレニアム開発目標と都市」（仮題）である。国連によって採択されたこのテーマは、2000年に国家首脳会合において、貧困、無学、飢餓、危険な水、病気、および都市と環境悪化に対して、共同で取り組むために、8つの目標を定めたものである。この8つの目標の達成を重要視するために5年の調査会を、国連総会にて9月に実施する予定である。

国連ハビタットは、ミレニアム開発目標（以下、MDGという）のうち、2020年までに少なくとも1億人のスラム街居住者の生活を改善するための7つの目標と11のターゲットを実現するために、多くの国際的の市民社会組織、都市、および政府とともに取り組んでいる。私たちはまた、安全な飲料水を継続的に利用できない人々の割合を半減させるための、MDG7の10のターゲットにも共同で取り組んでいる。都市管理および安全な保有のためのグローバルキャンペーンは、主として最も重い債務を負っている開発途上国において、一連の国連ハビタットのプログラムを通して、この仕事を増強する。

都市は経済成長の国家的原動力以上である。これらは文化的融合のるつぼである。貿易と移住の世界的ネットワークの交差点をまたがって立つと、世界の都市はミレニアム宣言に相応しく、包括性かつ公正の事例を照らすものでなければならない。そうでなければ、これらは、対立の引火点の可能性および貧困が蓄積されるままであろう。これらは、人類が一層発展するためには障害になるであろう。私たちは少なくとも、ミレニアム開発目標と都市のための約束を守ろうとしなければならない。

（翻訳・編集 堀）

■災害に強い「くに」と「まち」づくり

2005年3月21日（月・祝）、アクロス福岡8階、アクロスサロンにて、国土交通省主催、国連ハビタット福岡事務所共催で、国際セミナー「災害に強い「くに」と「まち」づくり緊急専門家会議」が行われた。当初は福岡国際会議場を会場に、スマトラ沖地震津波災害状況報告や復興支援についてのセミナーが開催される予定であったが、前日に福岡県西方沖地震が発生したため、福岡国際会議場が使用できなくなり、急遽場所がアクロスサロンに変更され、同地震についての概況報告や福岡県・福岡市の災害状況報告などを交えた内容に変更された。



野田順康国土交通省国土計画局総合計画課長をはじめ、（財）阪神淡路大震災記念協会人と防災未来センター深澤良信副センター長など防災等専門家の方々、ならびにインドネシア国土開発計画省特別地域振興部長のヘリー・ダルワント氏、スリランカ都市開発・水道省事務次官のトサパラ・ハワグ氏の出席のもと、福岡県西方沖地震、スマトラ沖地震津波災害について報告された。

前日の震災の影響で会場が変更になったにもかかわらず、多くの方々に参加され、防災についての関心の高さを示すものであったと思われる。参加申込者への連絡等で多大な功勞をしてくださった国連ハビタット福岡事務所など関係機関に敬意を表したい。（堀）



■定例会・学習会開催

「災害復興における国、行政の役割と私達にできること」

2005年4月30日（土）、福岡市NPO・ボランティア交流センターあすみにて、国土交通省国土計画局総合計画課長（前国連ハビタット福岡事務所長）である野田順康氏にお越しいただき、「災害復興における国、行政の役割と私達にできること」をテーマに、講演会と意見交換会を行なった。

冒頭で、近年の災害の状況と行政が行なった対策について報告された。スマトラ沖地震については、緊急援助された国連のテントがたくさん捨てられており、復旧・復興へのスムーズな移行が困難となっていることや、緊急援助には人々が注目し、マスコミが集まるので、多くの資金が集中するが、復興支援活動が始まる頃には、世界からの関心が薄れ、資金が集まりにくいことを指摘された。

参加者からは、災害地域にボランティアとして参加した経験から、現場が混乱しており、マネジメントが大変であったため、マニュアルが欲しいといった活発な意見が出された。



熱心に野田課長の講演を聴く参加者の皆さん

地震空白地域であった福岡で、3月20日（日）に西方沖地震が発生したことから、自然災害に対しては無力であることを痛感し、防災に対してあまり関心がなかったことに気づかされることになったのではないのでしょうか。またスマトラ沖地震で多くの被害を受けた方々に思いを寄せることにもなったように思った。（諸藤）



講演される野田課長

■協力委員会が開催されました

2005年6月3日（金）福岡市中央区白金の県知事公舎にて、国連ハビタット福岡事務所協力委員会が開催された。

事業報告会につづいて、「国連ハビタット福岡事務所を囲むタベ」が開催され、約60名が参加した。国連ハビタット福岡事務所を支える企業等で構成される協力委員会からは、川合辰雄会長、顧問である麻生渡福岡県知事、山崎福岡市長ら25名が出席、マリ・クリスティーン国連ハビタット親善大使、国土交通省野田順康課長、国連ハビタット福岡事務所職員らが招待された。市民の会からは、牟田慎一郎代表が出席した。

協力委員会を代表して、麻生渡福岡県知事のご挨拶があり、国連ハビタット福岡事務所への引き続きの支援協力を要請された。（牟田）



挨拶する麻生渡福岡県知事



左より協力委員会の皆さん、野田課長、マリ・クリスティーンさん



談笑する山崎市長、野田課長、麻生県知事、川合会長

■クリエイトフェスタ2005を共催

2005年6月11日(土)福岡市中央区舞鶴の福岡市健康づくりセンター「あいれふ」10階ホールにて、世界音楽祭とシンポジウム「アジアの教育事情」が開催された。ハビタット福岡市民の会は、実行委員会に参画する形で共催した。

世界音楽祭では、7つの演目で、約60名の出演者が、世界各国の民族舞踊や歌や楽器演奏を披露した。



インドネシアの民族楽器アングクルンの演奏



アンデスの民族音楽を熱演するグループ・タキの皆さん



ナニフラダンススタジオによるかわいいフラダンス

また、シンポジウムでは、インドネシア、スリランカ、タイ、バングラデシュ、ネパールの留学生らが、自国の教育事情について報告し、つづくパネルディスカッションでは、日本の教育支援グループの代表者も加わって、教育支援の活動状況や支援にあたっての問題点などの意見交換がされた。

日本の教育支援グループからは、電子メールなどでの情報伝達における時間感覚の違いや、支援される側の自助努力による教育事情改善を求める意見が出された。(牟田)



ラフマンさんによるプレゼンテーション



パネルディスカッション



パネラーを務めるウィボウォさん(右は補助の弥栄さん)

■今後の活動予定

- 8月1日(月) 15:00～
国連ハビタット福岡事務所設立8周年記念イベント
公開フォーラム「イラク・スリランカにおける紛争・災害後のまちづくり」
(牟田代表がコメンテーターとして出席)
- 8月2日(火) 18:30～
地球市民どんたく 2005 第3回実行委員会 福岡市役所
- 8月25日(木) 18:30～
定例会 あすみん打ち合わせスペース
- 9月15日(木) 19:00～
運営委員会 あすみん
- 9月20日(木) 18:30～
地球市民どんたく 2005 第4回実行委員会 福岡市役所
- 10月3日(月)
世界ハビタットデー
- 10月15日(土)～16日(日)
地球市民どんたく 2005
会場：ベイサイドプレイス
内容：展示、パフォーマンス、セミナー
(※セミナーは15日(土)のみ)
- 10月20日(木) 18:30～
定例会 あすみん打ち合わせスペース

※予定は変更になる場合がございます。ご確認の上、ご参加ください。

■イベントのお知らせ

地球市民どんたく 2005

ハビタット福岡市民の会は、今年も地球市民どんたくに参加いたします。友人・知人等お誘いあわせの上、是非、お越しください。

日程：2005年10月15日(土)、16日(日)
場所：ベイサイドプレイス博多埠頭
2F大ホール、2Fギャラリー、1Fデッキ
内容：

- 活動紹介ブース展示(両日、大ホール)
- 国際協力セミナー(15日(土)、ギャラリー)
- ワークショップ(16日(日)、ギャラリー)
- ステージでのパフォーマンス、NGO活動紹介(両日、1Fデッキ)

※ブース展示等をお手伝いして下さるボランティアを募集しております。

■事務局よりお知らせ

《書き損じの葉書を集めてます!》

ご家庭に眠っている書き損じハガキはありませんか? 書き損じハガキを捨てていませんか?

ハビタット福岡市民の会では、書き損じハガキを新品のハガキや切手に交換して、NL や通信の発送など、会の活動に役立てています!

市民の会宛の郵便物、および書き損じハガキの送り先は

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん
連絡ボックス2号

お問い合わせは

TEL: 090-6770-2481(代表 牟田)
090-1873-6954(事務局長 堀)

FAX: 0942-41-2080

Email cnhf@nngo.jp

《会員・運営委員募集中!》

ハビタット福岡市民の会では、九州唯一の国連機関、国連ハビタット福岡事務所の活動内容を、広く市民の皆さまにお知らせし、より深く理解していただくための活動に協力して下さる会員、ならびに会を運営する運営委員を募集しています。

私たちと一緒に活動しませんか?

皆さまの参加をお待ちしております。

活動内容

- ニュースレター取材、作成、発送作業
- 学習会ならびに出前授業の企画、立案、実施
- ホームページ更新
- 各種イベントの企画運営や支援
募金活動、Create Festa、スタディーツアー、世界ハビタットデー、地球市民どんたくなど

《会費納入のお願い》

このニュースレターは、皆さんの会費で発行されています。会費納入による皆様のご支援をお願いいたします。

年会費 一般 2,000円 学生 1,000円
郵便振替口座 01730-0-78434
加入者名 ハビタット福岡市民の会

《ハビタット福岡市民の会チラシ》

A4一枚の説明用チラシを作成しました。
ハビタット福岡市民の会の説明に活用ください。
下記 Website よりダウンロードできます。

事務局・お問い合わせは



郵便物のあて先

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46

福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん 連絡 Box 2号

TEL 090-6770-2481(代表 牟田)

090-1873-6954(事務局長 堀)

FAX 0942-41-2080

E-mail: cnhf@nngo.jp ←変わりました

URL <http://cnhf.nngo.jp> ←変わりました